

## 2024 年度 公立大学法人北九州市立大学 学長業績評価 評価結果

優れた業績である

(評価段階) 特筆すべき顕著な業績である ・ 優れた業績である ・ 良好な業績である  
不十分な業績である ・ 業務全般に重大な改善事項がある

### 総 評

- 学長就任時の所信表明に記載されている教育施策及び研究施策の各力点に沿って、学長の主導のもと、これら施策を現実的に推進しており、業務の機能性向上や効率化の面でも、入試と広報の担当組織の分離は効果をあげており、各分野で、状況に即応し、データを活用した取組みを進めている。
- 新学部設置に関し、学内での様々な協議を通じて定員を確保するとともに、設置者の北九州市、立地先の旦過市場商店街、連携先の IT 企業等との度重なる協議を経て、2027 年 4 月の開設に向けた道筋を整えたことは高く評価できる。
- 新学部設置を含む教育分野における改革は、助成金獲得やカリキュラム最適化に貢献し、特に DX の推進による教育の質向上が見られる。
- 次世代に貢献できる人材育成という面では、起業家を育成するワークショップの取組みや JST からの採択など土壌づくりが着実に進められている。
- 外部資金の獲得や市内大学・地元企業との共同研究の増加に繋がる組織・制度の改正が的確に実施されている。
- 中期計画期間の初年度として各分野で順調な成果をあげているが、特に次の点において学長のリーダーシップの発揮が認められる。
  - 【教育分野】新カリキュラムの編成、(仮称)情報イノベーション学部の設置準備
  - 【研究分野】外部資金の獲得、文理融合型研究の支援、産学官連携の拡充
  - 【社会貢献分野】リカレント教育の推進、地域企業との連携強化
  - 【管理運営分野】着実な「安全安心への取組み」、データ駆動型の広報戦略の強化、内部質保証の推進
  - 【その他活動】大学関連の政策立案、市政改革や地域活性化への参画等を通じた本学のプレゼンス向上